

# 大槌町公園施設長寿命化計画

2021年3月

大槌町環境整備課

## 1. 都市公園整備状況

(2021年2月末時点)

管理対象都市公園の数	管理対象都市公園の面積	一人当たり都市公園面積
42	19.91ha	17.46㎡

## 2. 計画期間

2021年度～2030年度（10箇年）

## 3. 計画対象公園

### ①種別別箇所数

街区	近隣	地区	総合	運動	広域	風致	動植物	歴史	緩緑	都緑	その他	合計
41	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	42

### ②選定理由

計画対象都市公園は、当町が設置し、管理している「都市公園法第2条に基づく都市公園」である42公園を対象とする。

## 4. 計画対象公園施設数

### ①対象公園施設数

園路広場	修景施設	休養施設	遊戯施設	運動施設	教養施設	便益施設
189	108	61	16	1	0	14

管理施設	災害応急対策施設	その他	合計
371	0	0	760

### ②これまでの維持管理状況

計画対象となる都市公園の施設は、運動施設は生涯学習課、その他の施設は環境整備課による維持保全（清掃、保守、修繕）と、日常的な点検及び管理が行われている。

遊戯施設については、これらの管理に加え、国土交通省「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」及び一般社団法人日本公園施設業協会が策定した「遊具の安全に関する規準（JPFA-S:2014）」に基づき毎年1回の定期点検を実施している。

日常点検、定期点検により不具合が発見された場合、緊急度の高いものから修繕、更新を行っている。

### ③選定理由

2011年3月11日に発生した東日本大震災により、当時設置及び管理されていた18公園（以下、「旧公園」という。）のうち10公園が被災・流出したため、8公園を廃止し2公園を復旧している。

また、土地区画整理事業や防災集団移転促進事業などにより、新たに32公園（以下、「新公園」という。）を設置している。

旧公園においては、これまで劣化した遊戯施設の修繕及び更新、四阿・ベンチ・野外卓等の休養施設の再塗装や更新などを行ってきたが、設置から25年以上経過していることから、公園施設の老朽化が顕在化してきている。

今後は、公園の新旧を問わず、進展する老朽化に対する安全対策の強化及び更新費用の平準化を図る観点から、適切な施設点検や維持補修等の予防保全的管理を行い、既存ストックの長寿命化対策及び計画的な更新を進めていく必要がある。

これより、計画対象公園全ての公園施設を対象とする。

計画対象公園については、公園施設の長寿命化対策により、公園機能の保全を図りつつ、日常点検や定期点検による確認により、施設の安全性を維持する。

## 5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要

点検調査は、2020年8月及び2021年1月から3月に実施した。

### (1) 一般施設、土木構造物、建築物

国土交通省の公園施設長寿命化計画策定指針に則り、健全度調査を実施した。

健全度調査は、遊戯施設及び運動施設を除く743施設のうち予防保全型管理の候補とした14施設について実施した。

### (2) 遊戯施設

遊戯施設は、砂場、タイヤ跳箱を除く12施設を対象に、公園施設業協会の遊具の日常点検マニュアルに則り点検を行った。

遊戯施設の健全度は、劣化レベル「C」又はハザードレベル「3」の場合には、健全度「C」としている。

遊戯施設は、健全度「D」の施設はなく、健全度「B」が約7割、健全度「C」が約3割を占めている。

### (3) 各種設備

法令等で点検が必要な施設について、点検結果では異常は確認されていない。

## ■健全度

公園施設種類	点検調査結果				
	A判定	B判定	C判定	D判定	合計
修景施設	2	1	0	0	3
休養施設	3	8	0	0	11
遊戯施設	0	8	4	0	12
合計	5	17	4	0	26

※遊戯施設のうち、砂場、跳び箱は健全度調査対象外としたため、遊戯施設数の合計16とは一致しない。

## 6. 対策の優先順位の考え方

対策の優先順位は、「5. 健全度を把握するための点検調査結果の概要」で示した「健全度判定」から設定した「緊急度判定」に基づくこととした。

修景施設及び休養施設については、健全度「A」又は「B」と判定された施設は緊急度「低」、健全度「C」と判定された施設は緊急度「中」、健全度「D」と判定された施設は緊急度「高」と設定した。但し、健全度調査の判定時において、1つでもC判定の項目がある場合は、緊急度「中」と設定した。

遊戯施設については、子供の安全に配慮し、健全度「A」と判定された施設は緊急度「低」、健全度「B」と判定された施設は緊急度「中」、健全度「C」又は「D」と判定された施設は緊急度「高」と設定した。

## ■緊急度判定

公園施設種類	判定結果			
	高	中	低	合計
修景施設	0	1	2	3
休養施設	0	2	9	11
遊戯施設	4	8	0	12
合計	4	11	11	26

## 7. 対策内容と実施時期

### ①日常的な維持管理に関する基本的方針

維持保全（清掃・保守・修繕）と日常点検は、環境整備課により随時実施し、公園施設の機能の保全と安全性を維持するとともに、施設の劣化や損傷を把握する。

公園施設の異常が発見された場合は、使用を中止し事故等を予防する。また、この時点で健全度調査を実施し、補修、もしくは更新を判定する。

清掃等は、環境整備課によるもののほか、地域住民や各種団体等によるアダプトプログラムの活用を推進する。

公園施設種類別の維持管理に関する基本的方針は以下のとおりとする。

a. 園路広場

アスファルトやコンクリート舗装等の経年劣化によるクラックや、ブロック舗装等の樹木の根上がりによる不陸の発生などを注視して管理を行う。

b. 修景施設

植栽は、剪定や間伐、病害虫の駆除など、植栽地の特性を踏まえた管理を行う。

パーゴラは、梁やルーバーの定期的な塗装を実施するほか、ボルト、留め金類の消耗部材の定期的な交換を実施する。

c. 休養施設

ベンチやテーブル等は、木材の劣化、腐朽等が進んでいるのを発見した際は、防腐処理を目的とする塗装や、部品交換等の修繕を実施する。

四阿及びシェルターは、防腐処理を目的とする塗装や、ボルト、留め金類の消耗部材の交換を定期的に行う。

d. 遊戯施設

日常点検及び定期点検により施設の劣化及び損傷を把握し、施設の塗装や消耗材の交換等を行うほか、必要に応じて利用禁止の措置を実施する。

e. 運動施設

体育館は、法で定める年1回実施する定期点検を健全度調査として活用し、必要に応じて修繕等の措置を行う。

f. 便益施設

トイレは、日常的な点検において、設備の破損や故障箇所の修繕を行う。

手洗い場は、給水・排水機能を確認し、破損等を発見した時点で修繕を行う。

g. 管理施設

フェンスは、塗装の劣化や、支柱や網の歪み等に対する修繕を行う。

案内板や標識柱等の標識類は、木材の腐朽や鋼材の腐食とともに、表示面の劣化を注視し、標識としての機能を維持するよう修繕を行う。

擁壁や補強土壁は、基礎の状況やひび割れなど、状況に応じて修繕を行う。

## ②公園施設の長寿命化のための基本方針

### (1) 予防保全型に類型した施設

健全度の判定が「B」の時点で適切な長寿命化対策を実施し、施設の延命化を図る。

予防保全型、事後保全型の類型は、ライフサイクルコストの算定結果を踏まえて確定する。

毎年の定期点検を行う遊戯施設や、設備以外の公園施設（修景施設、休養施設）については、5年に1回以上の健全度調査を実施し、施設の劣化損傷状況を確認する。

使用見込み期間は、処分制限期間が20年未満の施設は、処分制限期間の2.4倍、20年以上40年未満の施設は、処分制限期間の1.8倍、処分制限期間が40年以上の施設は、処分制限期間の1.2倍を基本とする。

#### d. 遊戯施設

日常点検及び年1回実施する定期点検により、施設の劣化及び損傷を把握する。

点検で施設の劣化や損傷を把握した場合、消耗材の交換等を行うほか、必要に応じて利用禁止の措置を行う。

定期点検の結果を健全度調査として活用し、施設の補修、もしくは更新を位置付けた上で措置を行う。

#### e. 運動施設

大槌町で定める公共施設個別施設計画に従い長寿命化対策を実施する。

### (2) 事後保全型に類型した施設

健全度調査を実施しないため、維持保全（清掃・保守・修繕）と日常点検で公園施設の機能の保全と安全性を維持する。

日常点検で施設の劣化や損傷を把握した場合、当該施設の修繕を行い、当該施設の求められる機能が発揮されない時点で施設の更新を行う。

使用見込み期間は、処分制限期間が20年未満の施設は、処分制限期間の2倍、20年以上40年未満の施設は、処分制限期間の1.5倍、処分制限期間が40年以上の施設は、処分制限期間の1倍を基本とする。

## 8. 都市公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期等

別添「公園施設長寿命化計画調書（様式1「総括表」、様式2「都市公園別」、様式3「公園施設種類別現況）」による。

## 9. 対策費用

① 概算費用合計（10年間）【②+③】	20,741 千円
② 予防保全型施設の概算費用合計（10年間）	12,962 千円
③ 事後保全型施設の概算費用合計（10年間）	7,779 千円
④ 単年度あたりの概算費用【①/10】	2,075 千円

## 10. 計画全体の長寿命化対策の実施効果

今回の長寿命化計画を策定した公園における10年間でのライフサイクルコスト削減額は1,120千円である。

## 11. 計画の見直し予定

①計画の見直し予定年度：2025年度

②見直し時期、見直しの考え方など

次回以降の健全度調査の結果が、長寿命化計画で定めた内容と著しく乖離が生じた場合には、長寿命化計画の見直しを行う。

また、公園の利用状況、人口動態、地域住民のニーズなどを勘案して、今後、廃止・集約化に向けた検討を実施する予定。